

第18回

「信頼を醸成し不正確な報道に対処する方法の一例
—スウェーデンから No. 2—」スウェーデン 元バーセベック発電所
カール・G・リントヴァル

以下の例は日本で必要としているもののヒントになるかもしれない。

チェルノブイリ事故の後、スウェーデンでは1987年に「分析グループ」が設立された。このグループは、市民や政治家の討論で提起される原子炉安全、放射線防護及びリスク比較に関する問題について、事実情報を集めて分析することを目的とする。

分析グループは、独立組織として原子力エネルギー及び放射線に関する市民の討論会に参加する。メンバー構成を見ると、分析グループはスウェーデンの原子力産業界、研究施設及び大学と係わりが深い。メンバーは、学歴、専門分野の実績、そして個人のコミットメントを考慮して選任される。メンバーは、「所属する組織」に縛られずにグループの仕事をする。

分析グループは、設立以来「敵味方」を問わず高く評価されている。分析グループの仕事は必要とされており、活用されている。主なタスクは、原子炉安全、放射線防護、放射線生物学、リスク研究に係る市民の討論で提起される問題について、事実情報を集めて分析することである。

ターゲットグループは主に政治的な意思決定者とマスメディアであるが、原子力産業界も対象外ではない。分析グループは、政治団体や労働組織など、様々な組織と定期的に話し合う場を設けている。分析グループは国内外に広い連絡網を持っている。また、メンバーだけでなく、産業界や大学から資格のある専門家を登用する場合もある。分析グループは、分析結果を

「背景及び原子力のファクト」シリーズとして公表しており、これらはインターネットを通して入手できる。分析グループは、これまでに報告書及びファクトシートを100件以上公表している。

分析グループへの連絡は、
KSU¹ 事務局 Tim Luncstrom 博士 (tlm@ksu.se)
または私 Carl G. Lindvall (cg.lindvall@gmail.com)
まで。 www.analys.se もご覧ください。

(注：@マークは画像で表記しています。メール送信の際は画像を@に変えて下さい。)

(注1)KSUは、原子力発電所職員の訓練(例：シミュレータ訓練、大学原子力工学科の理論コースなど)及び国内外の原子力発電所で発生した事象の評価を行う。また、運転経験の情報交換に関する国際ネットワークのスウェーデンの窓口である。KSU本部はNykopingに近いStudsvikにあり、スウェーデンの原子力発電所に支部がある。

2011年11月